

庄内海岸林再生に向けた取組状況をお知らせします。

TOPIC 抵抗性クロマツの苗づくりを強化しています

山形県では、松くい虫に強い「抵抗性クロマツ」の苗木を安定して育てるため、新たな取組みを進めています。

鶴岡市羽黒町のクロマツ採種園では、木の乾燥を防ぎ、良質な種を付けられるよう、水やり施設等を整備します。あわせて、植物ホルモンを使い「松ぼっくり」を増やす取組みや、最新培養技術を用いた苗の大量増殖の研究も進めます。

こうした活動を通じて、庄内海岸林の再生に欠かせない苗木の確保につなげていきます。



クロマツ採種園



クロマツ種子



抵抗性クロマツ1年生苗

【抵抗性クロマツとは】
松くい虫の病気にかかりにくいクロマツのこと。被害を受けた森で枯れずに生き残った木から育てられました。

各部会の現在地 ～2つの部会によって活動を展開中～

1 森林再生部会

海岸林の再生と保全に向けた取組方針や実行計画の立案と再生事業の方向性を検討・推進します。

■森林再生技術を検討するための植栽試験の実施

県森林研究研修センターにおいて、農地を風や砂から守る「耕地防風林」の再生に向け、様々な樹種の植栽試験を行っています。具体的には、松くい虫被害を受けないクロマツ以外の木（広葉樹であるコナラやタブノキ等）に植え替える「樹種転換」の可能性を模索しています。

試験を通じ、樹種転換が可能なエリアの把握や木が育つのに最適な土の条件を特定したうえで、植栽マニュアルを作成し、将来にわたり農地を守る海岸林を再生・保全していきます。



試験地の様子（タブノキ）

■主要幹線道路や農業用施設周辺の危険な被害木を伐採

倒木等による被害を未然に防ぐため、国道112号や日本海沿岸東北自動車道などの主要幹線道路沿いのほか、農業用施設に隣接する森林において、林野庁、県、市町が連携して危険な松くい被害木の伐採作業を進めています。



国道112号沿い危険木 [伐採前]



国道112号沿い危険木 [伐採後]

プロジェクトの取組みがテレビで放映されます！

以下の番組で詳しく紹介されることになりましたので、ぜひ映像をご覧ください。

番組名：提言の広場
（山形テレビ）
放送日：8月8日、15日

アーカイブでYoutubeでも見ることができます。

2 庄内公益の森づくり部会

多様な主体の協働による持続的活動を支援する仕組みをつくります。



活動レポート ～森林整備活動・森林環境学習の取組～

① 万里の松原に親しむ会の記念植樹（4/30）

万里の松原に親しむ会が、酒田市高砂地内で結成25周年を記念する植樹活動を行いました。

当日は、会員20名に松陵小学校の5年生44名が加わり、ケヤキやヤマザクラ、クロマツなどの苗木175本を1本1本丁寧に植樹しました。



② Save the 庄内海岸林（6/11）

庄内海岸のクロマツ林をたたえる会が、酒田市浜中のクロマツ伐採跡地で「Save the 庄内海岸林」を開催しました。

公益大や山形大の学生、庄内地域で活動する森林ボランティアなど約80名が、自生する広葉樹を傷つけないよう慎重に、ササやツル類を刈り取る作業を行いました。



③ 「花王の森おおはま」森林整備活動（6/13）

花王(株)酒田工場の社員約20名が、酒田市大浜の「花王の森」で森林整備及び清掃活動を行いました。

県、酒田市との「やまがた絆の森協定」に基づき、令和3年度から年2回実施しているもので、クロマツ・カシワ等の下層に繁茂する雑草の刈払いを行いました。



④ 山形県神社庁鶴岡西田川支部での海岸林学習会（6/13）

山形県神社庁鶴岡西田川支部が、三川町の天神堂公民館で海岸林学習会を開催しました。

参加者20名は森林整備課職員から、庄内海岸林や松くい虫について聴講するとともに、配布された「庄内海岸林プロジェクト通信」を通じて、多様な団体・組織が参画する庄内海岸林再生への取組みに理解を深めました。



⑤ 酒田光陵高校の森林ボランティア活動（6/25）

酒田光陵高校の1年生と教職員計284名が、校舎周辺のクロマツ林で森林ボランティア活動を行いました。

生徒たちは、万里の松原に親しむ会など関係団体の指導のもと、雑草やツルの除去作業、枯れ枝拾いに汗を流し、海岸林を守り育て未来につなぐ精神を育みました。



■発行■ 庄内海岸林再生プロジェクト会議
出羽庄内公益の森づくり部会広報チーム

〒997-1392 山形県東田川郡三川町大字横山字袖東19番1号
山形県庄内総合支庁産業経済部 TEL:0235-66-5526

山形県
ホームページ



庄内総合支庁
Instagram



庄内総合支庁
Facebook

